

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ひとつぼし		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 18日		2026年 3月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 3月 24日		2026年 3月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者が安心して通える環境が整備されていること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止マニュアルや緊急時対応マニュアルを整備し、定期的な訓練を行うことで、安全に配慮した体制づくりを意識している。</li> <li>・支援前後のミーティングや記録確認を行い、支援内容の統一と安心できる支援環境の維持に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害・医療対応など専門性を高める研修を増やし、より高い安全意識と対応力を備えた体制を目指す。</li> <li>・保護者や関係機関とも安全体制を共有し、家庭と事業所が連携して子どもの安全を守る体制づくりを検討する。</li> </ul>
2	保護者との信頼関係が築けており、相談対応・情報共有・利用調整がスムーズに行えていること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時の対話、連絡帳・面談など複数の方法を活用し、保護者が相談しやすい環境づくりを意識している。</li> <li>・支援内容や子どもの様子をわかりやすく共有し、共通理解のもとで家庭と連携しながら支援を進めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会・情報交換会・オンライン相談等、保護者同士のつながりも含めた交流の場を検討する。</li> <li>・相談内容や改善点のフィードバック方法をより分かりやすい形に整え、支援体制やサービス内容の透明性をさらに高めていく。</li> </ul>
3	活動部屋が複数あることで、発達や特性等を考慮して安心できる環境を整えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別配慮を考慮した支援を行なっている。</li> <li>・個別課題への集中支援を行っている。</li> <li>・当日の状況に合わせた環境調整が可能となり、どんな活動をするか自己調整力に繋げることができる。</li> </ul>	部屋的环境設定に関しては、子どもの様子に合わせて最適な環境を整えていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があまりない。	公園遊びや遊び場で地域の子どもと接する場面はあるが、放課後児童クラブや児童館との合同イベント等を開催することはできていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベント等へ参加したり、地域の子どもとの関わりが生まれるように支援する。</li> <li>・放課後児童クラブや児童館と連携し、合同イベント等の開催を提案する</li> </ul>
2	利用児童の学年や発達段階が幅広く、活動によっては難易度調整や参加方法の工夫が求められる場面がある。	異年齢集団のメリットを活かしつつ、参加しやすさとのバランスが必要なため。	個別・小集団設定、興味別プログラム、経験値に応じた選択制活動など、支援バリエーションを調整し、より満足度の高い参加環境づくりを進める。
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		放課後等デイサービス ひとつぼし		公表日		2026年 3月 31日		
		全体数	20名	回収数	20	回収率	75%	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	60%			15%	一度見に行った時は、すべての部屋を同時には使っていない様子だったので、全部使っているのであれば、十分だと思います。	人数や活動によってスペースを確保したり分けているので、今後も継続できるように努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	55%			20%	現在のどのくらい利用者が増えているのかがわからないため、職員が増員されているのですが、適切か判断できない	必要に応じた支援体制の見直しと職員配置の最適化に継続して努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	65%			10%		視覚支援・環境構造化の案内表示など、より分かりやすい環境整備を継続します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	75%				見学したどのデイよりも清潔感がある施設だなと思いました！	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	65%	5%		5%	いつも良く見ていただけていると感じます。一日の報告も丁寧に書いていただけるので読んでいて楽しいです。	子どもの特性に応じた支援を今後も継続していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	70%	5%				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	65%	5%		5%		今後もお子様の特性や保護者のニーズを分析し、支援計画の作成に努めていきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	55%	10%		10%		ガイドラインに沿って、支援内容を設定しています。契約時には丁寧に支援内容等について説明をさせていただきます。計画に含まれる支援項目について、具体的な内容やねらいを保護者に伝える機会を増やします。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	60%	5%		10%		子どもの特性に応じた支援を今後も継続していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	65%	10%			通い始めに比べて、担当の先生によって活動記録の内容がかなり簡素な感じることがあります。少し施設での息子の様子が分かりづらくなりました。	事業所では活動内容が固定化しないよう、運動・創作・調理等のジャンルをローテーションで実施し、月ごとのテーマ設定や児童の意見を取り入れながら内容の多様化を図ります。また、定期的な職員会議にて活動の振り返りと新規プログラムの検討を行い、個別支援計画と連動した活動提供に努めます。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	30%	15%	15%	15%	バイオリンなど現物を見せていただいたようでとても喜んでいました。	今後、外出や地域交流の機会を可能な範囲で検討いたします。	
保 護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	75%					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	75%					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10%	25%	25%	15%	個別によく電話で相談してもらっている。家庭での取り組みについてもアドバイスをいただけていると感じる。	参加しやすい時間帯や形式(オンライン・資料配布など)を検討し、より多くのご家庭に機会が届くよう工夫する。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	65%	10%				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	45%	15%	15%		定期的に行っていたけるとありがたいです。	
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	60%	15%				子供を共に育てていただいていると感じる。	

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		25%	30%	20%		保護者座談会・交流企画の検討を行います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	45%	15%		15%	相談や申し入れに対し、即座に対応していただいている	相談等があった場合は、引き続き迅速な対応に努めてまいります
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	75%					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	55%	10%		10%		HP等、子どもたちの様子を発信できるよう今後も継続していきます。自己評価表の結果についてはホームページにて公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	70%			5%		今後も引き続き研修等を行い、個人情報の取り扱いには十分注意してまいります。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	65%	5%		5%		契約時やお知らせを配信して周知・説明しています。引き続き対応に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	55%	5%		15%		定期的な避難訓練、設備点検を行っております。今後も継続して訓練を行っていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	60%	5%		10%		計画に基づき研修や訓練を行っており、今後も安全には十分注意して支援を行うよう努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	65%	5%		5%		怪我や体調不良の際には迅速に保護者へ連絡をしています。また経過についても丁寧な説明が出来るよう対応していきます。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	70%	5%			学校から車に送迎するところを見かけた時に自転車などぶつからないようにしっかり手を繋いでくれたり子供達に『楽しもうね』と声をかけてるのを目撃しました。ひとつひとつのやりとりが安心感がありここに預けて良かったと実感しています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	60%	15%			毎週、楽しみにしています。学校に行きたくない時も『ひとつぼしの日だ』と楽しみがあるから今は頑張ってます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	60%	15%			・手先が不器用で工作など苦手ですが、自分で作った作品を嬉しそうに見せてくれます。友達との交流がまだ上手に出来ないところもありますが、初めて気の合うお友達とも出会って楽しい時間を過ごさせてもらえます。ひとつぼしに通ってから笑顔が増えました！子供も親も。そして発達がゆっくりな我が子の成長を日々感じる事も増えました。何も出来ない…と悩んでいましたが、息子の得意なところ頑張っているとを発見して自信に繋げて下さり感謝してい	保護者様への伝え方において、口頭やHUGでの連絡を行っております。職員一人一人の質の向上に伴い研修を検討し、より質の高いサービスを行ってまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス ひとつぼし		2026年 3月 31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		外部評価の実施や活用方法を検討し、具体的な改善計画に落とし込んでいく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	必要に応じて他事業所や関係機関と連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	施設同士での情報共有はないが、保護者から聞き取りや書面で情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		該当者がいないが、今後該当者が出た場合は情報提供を行ってきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		スーパーバイズや研修の回数・内容を増やし、センターとの連携を一層強化していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		放課後児童クラブ・児童館等との交流機会が限られているため、安全やニーズを踏まえた無理のない交流方法を具体的に検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1		参加頻度や発言機会を増やし、地域の支援体制づくりにより積極的に貢献できるようにする。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		ペアレント・トレーニング等は実施していないため、今後実施を検討したい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	4		保護者会や交流の場が十分ではないとの声もあるため、負担感の少ない形式・頻度で実施できる方法を具体的に検討する。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		参加しやすい企画内容や広報方法を見直し、地域とのつながりをさらに広げていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				